

平成 29 年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

< 事業概要 >

平成 29 年度は、公益財団法人の認定から 6 年目となり、これまでの経験を十分に活かしながら事業計画に基づき、各部門とも積極的に事業を推進し、地域住民の公益の増進に貢献しました。

夜間休日救急診療所部門においては、急病患者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもとに管理運営をしており、年末年始やインフルエンザ流行期等については患者の状況に応じ、初期救急医療体制を適切に確保し、安全・安心な医療サービスの提供に努めるとともに、「救急医療の適正受診」等についての啓発活動を積極的に実施いたしました。平成 29 年度 of 患者数については、延べ 33,653 人、前年度比 2,855 人の減となりました。

健診センター部門においては、疾病の早期発見を図るための各種健康診断の実施など、地域住民の健康維持・増進に向け事業を推進してまいりました。事業所健診の受診件数は、他の健診機関への移行や事業所の労働者数の減少に伴う定期健康診断等の減少が要因となり、前年度比 873 件減となりました。宇都宮市から委託を受け実施している住民健診は、地区健診、個別マンモグラフィ検診等が減少したため、住民健診全体で前年度比 421 件減となりました。子ども健診については、全体で前年度比 185 件減となりました。平成 29 年度 of 健康診断受診者の総件数については、延べ 108,195 件、前年度比 1,479 件の減となりました。また、普及・啓発活動では、健診センターの保健師、がんサバイバー及び地元ラジオ局アナウンサーによる「がんとがん検診を考える」を内容としたラジオ対談の放送を実施し、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の醸成を図ったほか、横断幕やラジオ・新聞等様々な媒体を活用して各種健診の受診率向上に努めるとともに、事業所健診の検査結果等を基に、受診者の生活改善に役立つ健康教室等を開催し、積極的に健康診断後のフォローに努めました。また、リスクマネジメントの組織的な推進や精度管理、安全管理を徹底し、事故防止の意識を高めるとともに、個人情報 の適正管理に努めました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。また、資格取得の支援及び就業支援に力を入れ、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、当事業団が宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと管理運営しております。診療は、毎夜間と日曜祝日の昼間に実施し、特に患者が増加するゴールデンウィーク、旧盆、年末年始の繁忙期やインフルエンザの流行期などについては、前年度までの患者実績に合わせてスタッフを増員配置しました。

平成 29 年度の診療所実施状況については、昼間診療を 73 日、夜間診療（準夜・深夜）を 365 日実施し、総患者数は前年度比 2,855 人減の延べ 33,653 人となりました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区 分	診療科	診 療 日	診 療 時 間	受 付 時 間	開設日数
昼 間	医科 歯科	日曜, 祝日, 国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後 4時30分	73日
		旧盆(8/13, 14, 15)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜 間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

(単位:人)

区 分	医 師	歯 科 医 師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合 計	前年度比較	
								動員数	増減
昼 間	239	84	168	350	95	321	1,257	1,259	△ 2
準 夜	818	378	461	1,234	392	894	4,177	4,182	△ 5
深 夜	730	—	365	730	—	365	2,190	2,190	0
合 計	1,787	462	994	2,314	487	1,580	7,624	7,631	△ 7
前年度	1,787	462	997	2,321	485	1,579	7,631		
増 減	0	0	△ 3	△ 7	2	1	△ 7		

ウ 医科患者利用状況

医科における患者数については、概ね減少傾向で推移し、1月には5千人余の受診者を数えたものの、総患者数は前年度比2,593人減の30,805人となりました。

毎年多くの罹患者が出るインフルエンザは、12月から流行期に入り、1月にピークを迎え、3月までに前年度比276人増の4,037人を数えました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区 分		29年												合 計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日 数	増減
昼 間	日数	6	7	4	6	7	6	6	6	7	8	5	5	73	73	0
	患者数	712	894	269	571	852	622	481	467	1,286	2,266	1,211	538	10,169	11,380	△ 1,211
	1日平均	118.7	127.7	67.3	95.2	121.7	103.7	80.2	77.8	183.7	283.3	242.2	107.6	139.3	155.9	△ 16.6
夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0
	患者数	1,090	1,233	944	1,157	1,300	1,102	972	986	1,501	2,344	1,580	1,200	15,409	16,293	△ 884
	1日平均	36.3	39.8	31.5	37.3	41.9	36.7	31.4	32.9	48.4	75.6	56.4	38.7	42.2	44.6	△ 2.4
	患者数	381	476	367	479	522	435	405	348	452	538	377	447	5,227	5,725	△ 498
	1日平均	12.7	15.4	12.2	15.5	16.8	14.5	13.1	11.6	14.6	17.4	13.5	14.4	14.3	15.7	△ 1.4
合 計		2,183	2,603	1,580	2,207	2,674	2,159	1,858	1,801	3,239	5,148	3,168	2,185	30,805	33,398	△ 2,593
前年度		2,123	2,706	1,692	2,658	2,515	2,138	2,313	2,789	4,349	4,461	3,163	2,491	33,398		
増 減		60	△ 103	△ 112	△ 451	159	21	△ 455	△ 988	△ 1,110	687	5	△ 306	△ 2,593		

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

③医科患者転送状況

(単位：人)

平成28年度	平成29年度	増減
3,761	4,037	276

区 分	帰宅	転送	合計
患者数	30,141	664	30,805
構成比	97.8%	2.2%	100%
前年度	32,718	680	33,398
増 減	△ 2,577	△ 16	△ 2,593

④転送機関別内訳

(単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨 協	自 治	その他	合 計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇 東	宇第一				
転送数	341	114	52	78	16	2	0	0	0	3	25	11	22	664
構成比	51.4%	17.2%	7.8%	11.7%	2.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	3.8%	1.7%	3.3%	100%
前年度	333	110	72	75	7	11	10	1	4	9	21	13	14	680
増 減	8	4	△ 20	3	9	△ 9	△ 10	△ 1	△ 4	△ 6	4	△ 2	8	△ 16

エ 歯科患者利用状況

歯科における患者数については、年度当初から落ち着いた受診傾向で推移し、前年度比 262 人減の 2,848 人となりました。

①歯科月別受診者数

(単位：人)

区 分		29年												合 計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	比 較
															患者数	増 減
昼 間	日数	6	7	4	6	7	6	6	6	7	8	5	5	73	73	0
	患者数	56	108	27	49	123	64	49	52	146	149	50	42	915	945	△ 30
	1日 平均	9.3	15.4	6.8	8.2	17.6	10.7	8.2	8.7	20.9	18.6	10.0	8.4	12.5	12.9	△ 0.4
夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0
	患者数	173	188	127	155	197	153	143	144	200	169	121	163	1,933	2,165	△ 232
	1日 平均	5.8	6.1	4.2	5.0	6.4	5.1	4.6	4.8	6.5	5.5	4.3	5.3	5.3	5.9	△ 0.6
合 計		229	296	154	204	320	217	192	196	346	318	171	205	2,848	3,110	△ 262
前年度		246	310	204	231	342	214	254	211	339	340	200	219	3,110		
増 減		△ 17	△ 14	△ 50	△ 27	△ 22	3	△ 62	△ 15	7	△ 22	△ 29	△ 14	△ 262		

②歯科患者転送状況 (単位：人) ③転送機関別内訳 (単位：人)

区 分	帰 宅	転 送	合 計
患者数	2,828	20	2,848
構成比	99.3%	0.7%	100%
前年度	3,089	21	3,110
増 減	△ 261	△ 1	△ 262

区 分	NHO栃木	獨 協	自 治	その他	合 計
転送数	3	14	3	0	20
構成比	15.0%	70.0%	15.0%	0.0%	100%
前年度	4	13	4	0	21
増 減	△ 1	1	△ 1	0	△ 1

(2) 診療体制

地域住民の要望にそった初期救急としての診療体制を充実するため、関係医療機関との連携を図るとともに必要な人員の確保に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を強化しました。

イ 後方病院及び後方支援病院をはじめ、協力医療機関との連携を深め、円滑な患者の転送に取り組みました。

ウ 患者の受入実績、繁忙状況等を踏まえた上でスタッフの充実を図りました。特にゴールデンウィーク、旧盆及び年末年始の繁忙期や、インフルエンザ流行期における患者増に対して、医師、歯科医師、薬剤師等スタッフを増員し、円滑な診療を行うための診療体制の強化に努めました。

エ 医療サービス向上のため、年 4 回（4 月、7 月、12 月、3 月）看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、医療機器の取扱等の研修を実施しました。

また、薬剤師を対象とした研修も実施し、円滑な薬局業務のための課題検討や情報の共有化を進めました。

オ 受付時間及び休憩時間の周知を図り，従事者の勤務環境を改善し，より安全・安心な一次救急医療を提供できるよう努めました。

(3) 普及・啓発活動

地域住民に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため，以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において，「救急医療の適正受診」についてのチラシの配布や，夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方について案内を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク，旧盆，年末年始における夜間休日救急診療所の受診の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また，新聞折り込みにおいても，健康維持に関する啓発記事を，年2回（8月，10月）掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に，夜間休日救急診療所の受診の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンや「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に配布しました。

2 健診センター部門

地域住民の健康維持・増進に係る普及啓発活動や公益目的に関する事業を積極的に推進し、地域住民が求めるサービスを安定的、持続的に提供できるよう公益法人としての基盤や体質の強化、法人としての自主性や自立性の維持・向上に努めました。

また、リスクマネジメントを組織的に推進するなど、精度管理や安全管理を徹底し、市民が安心して受診できる健診環境の向上に努めました。

健診事業では、事業所健診、住民健診、子ども健診とも、全体的に減少傾向となりましたが、合計では、前年度に引き続き10万件を超える108,195件の実施となりました。

健康支援事業では、健診事業の乳がん検診、個別マンモグラフィ検診の減少に伴う事後指導の減により、全体で前年度比38件減の2,843件の実施となりました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別		平成29年度		平成28年度		増 減	
			構成比(%)		構成比(%)		増減率(%)
ア 事業所健診	定期健康診断	21,459	19.9	22,211	20.3	△ 752	△ 3.4
	生活習慣病予防健診	11,015	10.2	11,051	10.1	△ 36	△ 0.3
	人間ドック	1,741	1.6	1,677	1.5	64	3.8
	特殊健康診断	2,962	2.7	2,814	2.6	148	5.3
	結核検診	4,313	4.0	4,403	4.0	△ 90	△ 2.0
	その他の健診	1,756	1.6	1,916	1.7	△ 160	△ 8.4
	ストレスチェック	5,743	5.3	5,790	5.3	△ 47	△ 0.8
	小 計	48,989	45.3	49,862	45.5	△ 873	△ 1.8
イ 住民健診	節目健診	2,596	2.4	2,659	2.4	△ 63	△ 2.4
	地区健診	7,695	7.1	7,978	7.3	△ 283	△ 3.5
	地区巡回健診	8,510	7.9	8,326	7.6	184	2.2
	乳がん巡回健診	4,933	4.6	5,012	4.6	△ 79	△ 1.6
	子宮がん巡回健診	5,150	4.8	5,277	4.8	△ 127	△ 2.4
	特定健康診査単独	160	0.1	107	0.1	53	49.5
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	個別マンモグラフィ検診	1,229	1.1	1,335	1.2	△ 106	△ 7.9
	小 計	30,273	28.0	30,694	28.0	△ 421	△ 1.4
ウ 子ども健診	心臓検診	14,303	13.2	14,385	13.1	△ 82	△ 0.6
	結核検診	5,136	4.7	5,092	4.6	44	0.9
	その他の健診	9,494	8.8	9,641	8.8	△ 147	△ 1.5
	小 計	28,933	26.7	29,118	26.5	△ 185	△ 0.6
合 計		108,195	100.0	109,674	100.0	△ 1,479	△ 1.3

ア 事業所健診

事業所健診は、引き続き顧客サービスや健康診断受診勧奨の普及啓発活動を推進しましたが、他の健診機関への移行や事業所の労働者数の減少に伴う定期健康診断等の減少が要因となり、全体で前年度比 873 件減の 48,989 件の実施となりました。

イ 住民健診

住民健診は、宇都宮市から委託を受けて実施しており、前年度に引き続き早朝健診・出前健診・協会けんぽとのタイアップ健診等を実施しましたが、平成 29 年度は地区健診、個別マンモグラフィ検診等の減少が要因となり、全体で前年度比 421 件減の 30,273 件の実施となりました。

ウ 子ども健診

子ども健診のうち、市内小学校 1 年生、4 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、ほぼ前年度並の 14,303 件の実施となりました。

幼稚園・保育園児を対象とした尿検査や高校・大学・専門学校の学生を対象とした健康診断等のその他の健診は、前年度を 147 件下回り、子ども健診全体で、前年度比 185 件減の 28,933 件の実施となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業健診受診件数

(単位：件)

保 健 指 導 区 分	平成29年度		平成28年度		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
特 定 保 健 指 導	306	10.8	216	7.5	90	41.7
そ の 他 の 事 後 支 援 事 業	2,537	89.2	2,665	92.5	△ 128	△ 4.8
合 計	2,843	100.0	2,881	100.0	△ 38	△ 1.3

健康支援事業は、健診事業の個別マンモグラフィ検診の受診者減に伴い、乳がん検診後の自己視触診指導が減少したことで、健康支援事業全体で前年度比 38 件減の 2,843 件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

平成 28 年度の宇都宮市国民健康保険組合員及びその被扶養者に対する特定健康診査の健診結果のうち、メタボリックシンドローム判定、特定保健指導レベル判定、検査項目別判定及び血液検査判定について分析し、その結果を宇都宮市に提供しました。

(4) 普及・啓発活動

ア 健康教育及び健康指導

① 保健師や管理栄養士が宇都宮市内の事業所や公民館等に出向いて、要望に応じたテーマで講義や指導を行い、市民の健康意識向上に努めました。

実 施 日	出 向 先	参加人数
5 月 2 0 日	小平興業（株）	5 0
7 月 1 日		1 9
9 月 3 0 日		2 2
1 2 月 2 日		1 7

実 施 日	出 向 先	参加人数
6月20日	日本サーファクタント工業(株)	16
9月19日		29
6月22日	(株) 下野新聞社	20
6月23日		14
7月 8日	エイム (株)	8
12月 2日		6
7月13日	北原寿会	18
7月14日	宝木 2-3 シニアクラブ	10
7月19日	上原団地	17
7月26日	芦遊会	16
8月 2日	悠遊会	17
8月 7日	月の会サロン	21
8月23日	今宮 3 丁目陽光クラブ	18
8月25日	上籠谷超 長生会	23
8月30日	太陽ヶ丘老人会 さつき会	16
9月 7日	(株) ミットヨ 宇都宮事業所	17
9月12日		24
9月19日	(株) ミットヨ 清原工場	13
9月27日	住吉長寿会	24
11月29日	栃木県庁	44
合 計		479

- ② 保健師が事業団の講堂において事業所の健診担当者等を対象に「働き盛り世代の健康は財産！！」と題した講演会を新たに行い、労働者の健康意識の向上に努めました（10月16日、参加者 24 事業所 31 名）
- ③ 市内小中学校児童・生徒を対象に実施した平成 29 年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、平成 29 年 10 月に市内小中学校養護教員宛報告をしました。

イ 各種健診の受診率向上への取り組み

- ① 事業団建物及び検診車両を利用した市民への周知

下記の運動月間等において横断幕やボード等を事業団建物や検診車両に掲示し、広く市民へ周知しました。また、その他の月においては「健診受診勧奨」のボードを検診車両に掲示し、健診の受診率アップに努めました。

掲示期間	内 容
5月	禁煙
9月	がん征圧
10月	乳がん
11月	糖尿病
1月	高血圧
2月	生活習慣病
3月	大腸がん

② 市主催のイベント等への参加

- ・ 日本対がん協会主催のがん患者支援チャリティーイベント「リレーフォーライフ」(9月16日・17日、会場：壬生町総合公園)に参加し、職員ががん検診の重要性についてPRする横断幕を掲げ行進して、健診の受診勧奨を行いました。
- ・ 市が主催する「食育フェア」(10月1日)に参加し、保健師と管理栄養士が「野菜」に関するテーマで、野菜嫌いな方のために上手な野菜の摂り方などを指導するほか、来場者と一緒にキーホルダーの作成体験を行うなど、市民の健康意識の向上を図るとともに健診の受診率アップに努めました。
- ・ 市が主催する「人づくりフォーラム」(11月26日)に参加し、子どもたちを対象とした健診スタッフの職業体験を実施するとともに、健康診断受診勧奨のチラシを配布して健診受診率向上を図りました。

ウ ラジオ対談の実施

「がんとがん検診を考える」をテーマに、保健師、がんサバイバー、C R T 栃木放送アナウンサーによるラジオ対談の放送を実施し(10月20日)、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の醸成及び健診受診率向上を図りました。

エ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ ヘルスアップレター

テーマ:「食生活を見直してみよう」、「受動喫煙について」、「スポーツの秋! 今こそ運動をはじめてみませんか?」、「きちんと眠れていますか?」

※ 元気アップ通信

テーマ:「健康的にダイエット!!～生活活動編～」,「健康的にダイエット!!～運動編～」,「健診でわかるあなたの体シリーズNo.5」,「日頃から実行している『健康づくり』と『この秋のお勧めの運動』について」

オ メディアを通じた普及啓発活動

地域住民が健康について考えるきっかけとなるよう、各種疾病や健康に関する予防月間等の際にその意義や予防について栃木放送と下野新聞を通じて広く市民に周知しました。

実施月	内 容	
	栃木放送	下野新聞
4月	健康診断受診勧奨	—
5月	禁煙	禁煙
6月	胃がん	—
7月	前立腺がん	—
8月	子宮がん	—
9月	がん征圧	がん征圧
10月	乳がん	乳がん
11月	糖尿病	糖尿病
12月	高血圧	—
1月	肝臓病	—
2月	生活習慣病	生活習慣病
3月	大腸がん	大腸がん

(5) 精度管理

ア 健診スタッフの技術の向上

- ① 全国労働衛生団体連合会や人間ドック学会等が主催する各種の学会，研修会に保健師，看護師，臨床検査技師，診療放射線技師等に参加させ，資質技術の向上に努めました。
- ② 乳房超音波技術講習会をNPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構との共催で開催するとともに，臨床検査技師に参加させ，検査技術の向上に努めました。

イ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し，正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに，再現性の検証等を定期的の実施しました。

ウ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催するX線検査，血液検体検査，労働衛生検査及びマンモグラフィ精度管理中央委員会が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加し，各種検査の精度向上に努めました。

(6) 安全管理

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリハット事例の原因分析，防止対策等を組織的に検討し，その結果を職員及びスタッフへ周知し，事故防止への意識昂揚を図り，安心・安全な健診の実施に努めました。

イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として，健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため，情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど，個人情報の適正管理に努めました。

(7) 住民健診受託体制の整備

宇都宮市が実施している住民健診において，平成30年度から乳房超音波検査が導入されることに伴い，受託に向けた検査機器やシステムの整備，必要な新たな人員の確保を図りました。また，臨床検査技師を大学病院等の実習に長期にわたり参加させました。

(8) 統括責任者の配置

住民健診の受診者の増加及び高齢化に対応するため，健診現場に統括責任者（健診マネージャー）を前年度に引き続き配置し，トラブルやクレームに速やかに対応するなど，健診の円滑な実施とサービスの向上に努めました。

(9) 施設の再整備

老朽化，狭隘化した施設2階の利用スペースを見直すとともに，3階准看護学校の空きスペースを有効活用するなど，施設の再整備を図りました。

(10) 検診車両の整備

購入後20年が経過し老朽化しているアナログ胃・胸部X線併用検診車両を，精度の高い画像診断ができる最新のデジタル胸部X線検診車両に更新しました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置に努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、民間企業の雇用環境が徐々に上向いており、より条件の良い方へ人材が集まる傾向にあることから、応募者が前年度の8割に留まり、平成30年度入学生は27名となりました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 29年4月 (人)	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計 (時間)
		基 礎 科 目	専門基礎 科 目	専 門 科 目	合 計	講師数	実 習 時 間	実 習 施 設	
		国 語 外 国 語 音 楽 そ の 他	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 そ の 他	基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護					
1 年 生	40	105	305	415	825	55	238	14	1,063
2 年 生	30	0	80	250	330		497		827
合 計	70	105	385	665	1,155	55	735	14	1,890

(2) 生徒確保対策の強化

ア 卒業生の出身校訪問、県北・県央のハローワーク（7ヶ所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（16ヶ所）を訪問し、情報提供を行いました。

イ 学校見学会を年3回（8月平日、9月休日、10月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、従来からのインターネットによる募集と宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載に加え、ミヤラジへの出演や、下野新聞の「子育て世代支援特集」記事において本校の情報発信を図りました。

エ 貸与・給付や返還免除など、一定の要件を満たせば、入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担を軽減できる国や県の奨学金や各種修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向けPRを行いました。

(3) 教育環境の充実

ア 生徒指導、相談体制の強化を図るため、「大人の発達障害への対応について」のセミナーの受講及び報告会を実施し、専任教員のカウンセリング能力の向上に努めました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期研修会（4名）
- ・ 領域別研究会「管理領域」（1名）、「老年看護学」（1名）
- ・ 領域別研究発表会（1名）

イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため、教員の実習引率や基礎実習各施設巡回及び反省会への出席とともに、実習指導者会議を開催し、指導者と実習内容について協議を行いました（参加人数 63 名）。

(5) 実践活動の充実

ア 市内の体育館において、1・2年生合同の研修（ニュースポーツ・障害者スポーツ大会）を実施し、学年間の交流を図りました。

イ 2年生を対象に、東京都巣鴨において高齢者理解及び交流を目的とした研修を実施しました。

ウ 1年生を対象に、宇都宮税務署員による特別講義「租税教育」を実施しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会理事による特別講義を実施しました。

イ 9月より就業支援を行い、看護師学校進学者 10 名を除く 19 名のうち 15 名が県内の医療機関、高齢者福祉施設に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人 数	備 考
生徒数	40	入学者 38 名（受験者数 58 名） 復学者 2 名
進路変更等	7	退学者 4 名 休学者 3 名
進級者	33	

イ 2年生の状況

	人 数	備 考
卒業生	29	
うち准看護師試験合格者	29	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	10	進学率 34.5%
看護師学校進学兼就職者	0	進学兼就職率 0%
医療機関就職者	15	就職率 51.7%
就職活動中	4	13.8%
その他	1	休学者
合 計	30	

ウ 平成30年度生の募集状況

試験科目…………… 国語，一般教養，作文，面接

	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推 薦 入 試	平成29年10月24日 (一般教養・作文・面接)	2	2(2)	
一般入試(第1回)	平成29年12月5日 (国語，一般教養，作文，面接)	22	13(11)	
一般入試(第2回)	平成30年2月6日 (国語，一般教養，作文，面接)	10	8(8)	
一般入試(第3回)	平成30年3月13日 (国語，一般教養，作文，面接)	10	10(6)	
合 計		44	33(27)	1.33

※ 平成30年度入学生 27名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書の整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、3年制教育移行後の授業計画に基づく講義を継続するとともに、大学病院・介護施設での実習を実施いたしました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内医療機関の他、県内の医療機関等に募集案内のポスター掲示を依頼するほか、平成29年度新たに、新聞広告にオープンキャンパスの特集を掲載するなど広報活動の強化に努めました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 29年4月 (人)	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合 計	講師数
		英語 生物 心理学 その他	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科		
		(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(人)
1年生	49	60	285	525	0	870	29
2年生	41	45	15	45	45	150	10
3年生	42	45	75	284	90	494	14
合 計	132	150	375	854	135	1,514	53

臨地実習		施設臨床実習 介護施設実習		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
—	—	—	—	870
720	39	—	—	870
270		36	5	800
990	39	36	5	2,540

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校（34 校）を訪問しました。
- イ オープンキャンパスを年 4 回（7 月休日、8 月平日・休日、9 月休日）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
 - ・ 宇都宮市広報紙掲載 2 回（10 月、12 月）
 - ・ インターネットによる学生募集の広報
 - ・ 宇都宮市内の全中学校にポスターを送付
 - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
 - ・ 学生募集案内を新聞広告へ掲載

(3) 教育環境の充実

- ア 実習棟用コンプレッサーのメンテナンスや教員用パソコンの購入など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師指導教員打合会を開催し、指導教員と実習内容について協議を行いました（参加人数 110 名）。
- イ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。
- ウ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。また、カリキュラムの見直しを行うとともに、カリキュラム改正説明会及び座学講義方法講演会を開催し、講師と情報の共有化を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「音波ブラシの使い方」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ フッ化物塗布事業や歯の健康教室へ参加しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 11 月より就業支援を行い、就職希望者 40 名のうち 38 名が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1 年生（第 40 期生）の状況

	人数	備 考
学生数	49	入学者 49 名（受験者数 52 名）
進路変更等	2	退学者 2 名
進級者	47	

イ 2年生（第39期生）の状況

	人数	備 考
学生数	41	
進路変更等	2	退学者 2名
進級者	39	

ウ 3年生（第38期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	41	
うち歯科衛生士国家試験合格者	39	合格率 95.1%
(卒業生の進路)		
医療機関就職者（歯科衛生士）	36	就職希望者 40名（就職率 95.0%）
医療機関就職者（歯科助手）	2	
就職活動中	2	
その他	1	
その他	1	休学者
合 計	42	

エ 平成30年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合，適性検査，面接

試験区分	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 試	平成29年 9月24日	19	17 (17)	
推薦・特別入学	平成29年10月19日	23	22 (22)	
一 般 入 学	平成30年 1月18日	11	11 (7)	
一般入学(2次)	平成30年 2月11日	1	1 (1)	
一般入学(3次)	平成30年 3月18日	3	3 (3)	
合 計		57	54 (50)	1.06

※ 入学定員 50名

※ 平成30年度入学生 50名

※ AO入試（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り，学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 理事会定例会	平成29年 5月31日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 平成28年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第3号 平成29年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会 （決議の省略）	平成29年 7月12日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第2号 平成29年度第2回評議員会臨時会の招集について
第3回 理事会臨時会	平成29年 7月20日	議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 宇都宮市夜間休日救急診療所副所長の承認について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団健診センター副所長の承認について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校学則の一部改正
第4回 理事会 （決議の省略）	平成29年 10月17日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員候補者の推薦について 議案第2号 平成29年度第3回評議員会（決議の省略）の招集について
第5回 理事会定例会	平成29年 12月25日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団施設再整備について 議案第2号 平成29年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算（第2号）
第6回 理事会定例会	平成30年 3月27日	議案第1号 平成29年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算（第3号） 議案第2号 平成30年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団給与及び旅費規程の一部改正 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団災害時マニュアル（案）について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事務局長の選任について

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	平成29年 6月15日	議案第1号 平成28年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等の報酬並びに費用に関する規程の一部改正
第2回 評議員会臨時会	平成29年 7月20日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について

第3回 評議員会 (決議の省略)	平成29年 10月25日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について
------------------------	-----------------	-----------------------------------

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成29年 6月15日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	平成29年 7月 6日
平成29年 7月20日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	平成29年 9月28日
平成29年10月25日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	平成29年11月13日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
平成29年 6月26日	変更の届出(役員等の報酬並びに費用に関する規程の一部改正)
平成29年 6月28日	事業報告等の提出
平成29年 8月14日	変更の届出(役員等の変更)
平成29年10月17日	変更の届出(役員等の変更)
平成29年11月30日	変更の届出(役員等の変更)
平成29年 3月29日	事業計画書等の提出

(5) 役員等に関する事項(平成30年3月31日現在)

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	片山 辰郎	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	手塚 敏男	
理事	7	齋藤 公司	
		益田 俊英	
		長谷川英一	平成29年7月20日就任
		石崎 一郎	
		石岡 和男	平成29年6月15日就任
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監事	2	佐藤 行正	
		小林 陽夫	平成29年6月15日就任
評議員	11	亀卦川良宣	
		小林 健二	平成29年7月20日就任
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		手塚 英和	平成29年6月15日就任
		酒井 典久	平成29年6月15日就任
		阪口 勉	
		荒木 宏	
		宮崎 務	平成29年10月25日就任
		高橋 郁夫	平成29年6月15日就任
		坂本 裕一	平成29年6月15日就任
合計	23		

(6) 職員に関する事項 (平成30年3月31日現在)

職 名 部門	事務局長	次 長	課 長 学科長 主 幹	課長補佐 室 長 GL 副主幹 副 主 幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主 任	主任書記 主任技師	書 記 技 師	専任教員	嘱託員	合 計
事務局	(1)	1								1	2
総務課			(1)			1	2	1			4
救急診療所			1	2		1				1	5
健診センター											0
事業推進課			1	3	3	2	1	3		1	14
健診課			1		6	3	6	4		2	22
准看護学校			1						4	1	6
歯科衛生士学校			1 (1)		1				3	1	6
合 計	0	1	5	5	10	7	9	8	7	7	59

※ 総務課長については、事務局次長が兼務している。

※ 事務局長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員である。